

群馬用水は夏期モードに入りました

5月下旬から、最高気温が30度を超える暑い日が観測されるようになり、これから梅雨をはさんで夏の足音が聞こえてくる季節になってきました。

そのような中、群馬用水も農業用水の増加に伴い、水路に流す水を大きく増やす夏期通水に入りました。

水を大幅に増やすため、水路内の水草や水路に堆積した落ち葉やゴミが流れて、水路を詰まらせる原因になります。また、群馬用水の水路には、水位を一定にして水路から水を取りやすくするチェックゲートがありますが、流量が大きく変わる場合、このチェックゲートを操作する必要があります。

そのため、毎年5月16日と6月1日は早朝より職員総出で水路内のゴミの除去とチェックゲートの操作、増やした水がきちんと流れているかの点検等を行い、群馬用水は、9月下旬まで水を多く流す「夏期モード」となります。

群馬用水は、24時間、365日農業用水と水道用水が安定して通水できるよう不断のとりくみを行っていますが、その中でも水の量を大きく増やす夏期通水への移行は、毎年職員が総出で取り組む重要な作業です。

群馬用水は、これからも安定的で良質な用水の供給に努めて参りますので、引き続き皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



至る所でゴミが引っかかり水が流れにくくなります。



増やした水が届いたのを確認してチェックゲートを操作します。



各所にて総出で除塵作業を行いました。